

平成 2 9 年度

事業報告書



社会福祉法人

鵜川慶寿会

目 次

1	社会福祉法人鵜川慶寿会総括事業報告	1
2	法人本部事業報告	3
	(1) 事業経過報告	3
	(2) 採用職員及び退職者	4
	(3) 職員の保有資格等の状況	5
	(4) 理事会開催状況	6
	(5) 評議員会開催状況	8
	(6) 監事監査の実施状況	8
	(7) 第三者委員会の開催状況	9
	(8) 入居検討委員会の開催状況	9
	(9) 役員研修の実施状況	9
	(10) ストレスチェックの実施	9
3	胆振東部鵜川慶寿苑事業報告	10
	(1) 事業内容報告	11
	(2) 管理職会議・運営会議開催報告	12
	(3) 外部研修会の参加状況報告	13
	(4) 防災体制と危機管理体制	14
	(5) 苦情処理状況と事故発生状況	14
	(6) 主な施設整備状況	15
	(7) 利用者の構成とその状況	15
	(8) 在宅サービスの状況	17
	(9) ボランティアの受入状況	17
	(10) 施設見学・実習生等の受入と福祉教育	18
4	高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告	19
	(1) むかわ町高齢者グループホームふきのとう事業報告	19
	(2) 高齢者共同生活住宅こごみ荘事業報告	25

1 社会福祉法人 鶴川慶寿会 総括事業報告

平成29年度は、改正「社会福祉法」が完全施行され、変更された定款に基づき、新たな経営組織によりスタートしました。①経営組織のガバナンスの強化。②地域における公益的な取組を実施する責務。③事業運営の透明性の向上。④財務規律の強化。この4点について社会福祉法人の成果が問われていきます。

特に社会福祉法人に対する課税論については、平成30年度の与党税制改正大綱において、記述はありませんが、課税論が完全に終結したわけではありません。社会福祉法人の主体的な取組を実践で示していかなければなりません。

内部留保といわれる社会福祉充実残額の算定においては、平成29年12月18日に開催された第20回社会保障審議会福祉部会に提出された資料によると、平成28年度決算において社会福祉充実残額があった法人は全体の12%にとどまり、当会においては△302,160千円（不足）となり、今年度決算においては△336,090千円（不足）となりました。

将来の施設整備については、大多数の法人において自己資金の不足が施設整備計画策定において大きな課題となっています。当会においては、既存の施設を少しでも長く有効活用しながら、人口推計等をしっかりと踏まえ、適切な規模での施設整備に向け、むかわ町をはじめ関係機関と十分に協議を重ね進めて参ります。

平成29年度の重点的な取組に掲げた点について検証します。

(1) 適正な財務管理の推進と情報公開

平成29年度は、予定外の修繕工事等が発生し、やり繰りに苦労しましたが、積立金の取崩しを行いながら対応しました。助成事業として、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団からの助成をいただき車輛更新を行うことができました。一般社団法人函館馬主協会会長庄野昭彦様には格別のご配慮を賜り感謝申し上げます。また、北海道労働局より職場定着支援助成金により、特殊浴槽の更新を行うことができました。

一方で、特養においては、入院者・退所者の増加と待機者の減少に加え、介護職員の傷病による長期休暇取得者の増加及び退職による人員体制の悪化により稼働率91.02%となり、介護報酬の大幅な減収が影響し赤字経営となりました。稼働率の上昇には、待機者と介護職員の確保が不可欠であり、様々な求人形態の活用により早期の正常化を図り、空きベッドの解消とショートステイの利用促進を図ることがこれからの経営を左右する大きな課題となります。

情報公開については、ホームページを活用し計算書類及び財産目録、定款、役員報酬規程、現況報告書等は、元より法人・施設の広報誌、求人情報、行事予定等について、情報発信を行うことができました。引き続き内容の充実を図ってまいります。

(2) 人財確保と育成

平成29年度は、「職務能力向上支援規程」に基づき、実務者研修4名（特養：むかわ町の助成制度活用）の研修受講支援を行いました。

資格取得試験の結果は、介護支援専門員実務研修受講試験及び介護福祉士国家試験ともに合格者を出すことが出来ませんでした。昨年介護福祉士国家試験に合格した1名が、喀痰吸引等施設内実地研修を行い、北海道知事より認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けました。平成30年

度は、喀痰吸引等50時間研修へ複数名の介護職員を派遣し、医療的ケアに対応できる職員の育成を行います。

「奨学金貸与規程」に基づく奨学生の希望者はありませんでしたが、地元高校は勿論のこと近隣高校の進路指導部に対し早めの働きかけを行い、毎年1名以上の希望者確保ができるよう努めます。

一方で、働きながら介護福祉士取得を目指す方への支援として、むかわ町の助成制度を活用しながら実務者研修の受講促進と受講支援を行います。

(3) リスクマネジメントと災害時の協力体制

平成29年度は、特養で事故が4件（骨折3件、裂傷1件）発生しました。ふきのとうにおいては、入居者のベッドサイドのクリップライトが倒れ、寝具が焦げた事例が1件発生しました。事故・ヒヤリ・ハットの事例を分析し、危険予知能力向上を図り、事故防止に努めて参ります。

経営面でのリスクとして、6カ月以上の利用料金の滞納が特養、ふきのとうでそれぞれ1件あり、引き続き回収に向け督促を行っていきませんが、むかわ町地域包括支援センターとも協議しながら、法的措置も視野に入れ対応していきます。

災害リスク面においては、昨年12月11日午前9時05分頃、発生の突風により、特養裏庭の現在使用していない動物小屋の屋根の一部が飛ばされ居室2か所の窓ガラスが破損し、建物南東側の笠木が飛ばされ、管理者住宅のベランダガラスが破損しました。また、駐車禁止用コーンが錘ごと飛ばされ職員の車輛2台にぶつかりバンパー等を破損させる被害がありました。

幸いにして人的被害はなかったものの自然災害の恐ろしさを目の当たりに痛感しました。車輛が破損した職員2名には見舞金対応をさせていただき、建物の被害については、火災保険で復旧することができました。このことを教訓に、平成30年度には裏庭の使用していない動物小屋の撤去を予算計上し、リスク軽減を図ります。

一方で、避難経路確保として、むかわ町から賃貸している北側駐車場への非常災害時等における避難用通路の設置を行うことができたことは大きな成果といえます。

災害は何時起こるかわかりません。日胆地区老人福祉施設協議会並びに胆振東部3町社会福祉法人災害協力協定による協力体制を維持し、被災施設等への支援が迅速かつ円滑に行えるよう努めます。また、法人事業所間での支援体制についても、自治会・町内会のご理解をいただきながら、防災訓練、運営推進会議、運営懇談会等を通して協力いただくことが出来ました。

(4) 地域貢献事業の実施

1. 認知症キッズサポーター養成講座への講師派遣

高齢化が進み認知症の方が増加していることから、子供たちに高齢者や認知症の理解を深め、地域で温かく見守り、応援してくれることを願い、むかわ町が開催しました。

※派遣者：胆振東部鶴川慶寿苑 業務副主任 日野雄太
グループホームふきのとう 介護福祉士 宮崎章弘

月 日	開催校	参加人数	備考
12月15日(金)	鶴川中央小学校	5年生 35名	校長、教諭1名、今荘主任保健師

2. 介護講座の開催

鶴川高校進路指導部と連携し、「介護や社会福祉についての理解を深め、高校生としての福

社の理解を深めるとともに、進路に向けての視野を広げる機会とする」ことを目的に、今年度は認知症サポーター養成講座を10月12日（木）13日（金）の両日（16:00～16:45）、鶴川高校にて開催し、生徒7名、教諭1名が受講しました。

認知症サポーターとは、「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症の人の事を知って、認知症や家族を温かい目で見守る人の事です。「何か特別なこと」をする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。

受講者8名は、認知症サポーターとして認定され、「オレンジリング」が贈呈されました。

3. 特養における低所得者、生活困窮者に対する利用者負担の軽減事業の実施

対象者12名に対し、996,206円の軽減を実施しました。その対象経費に対しむかわ町より205,000円、苫小牧市より15,000円の助成を受けました。

4. むかわ町社会福祉協議会の「ふれあい広場」開催にあたり職員を派遣し、焼き鳥コーナーを担当しました。

（5）むかわ町高齢者生活交流センター「ひだまりの里」の受託運営

高齢者共同生活住宅「ごごみ荘」「交流広場」、むかわ町高齢者グループホーム「ふきのとう」について、平成29年度から引き続き、むかわ町より10年間の指定管理者の指定を受けました。

ごごみ荘に入居されている方については、要介護状態の悪化により「ふきのとう」へ1名、「慶寿苑」へ2名の方が住み替えをしましたが、今後も必要に応じた住み替えに配慮していきます。

2 法人本部事業報告

（1）事業経過報告

年月日	事業内容	摘要
H29.4.3	平成29年度辞令交付式(胆振東部鶴川慶寿苑)	理事長
H29.4.21	新任職員歓迎会、役職員及びボランティア合同交流会	四季の館 83名
H29.5.18	第1回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑事務室)	伊東、丹治、理事長
H29.5.24	平成29年度第1回理事会	慶寿苑サンルーム
H29.6.8	平成29年度定時評議員会	産業会館3階青年研修室
H29.6.8	平成29年度第2回理事会	産業会館3階青年研修室
H29.6.12	自民党移動政調会	山口
H29.7.18	松田明雄氏叙勲受章祝賀会(四季の館研修室)	理事長、山口
H29.8.30	第2回監事監査(胆振東部鶴川慶寿苑事務室)	伊東、丹治、理事長
H29.9.21	公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成金目録贈呈式(函館)	山口
H29.9.25	平成29年度第3回理事会	慶寿苑サンルーム
H29.10.23	地域介護・福祉空間整備推進交付金実態調査(介護ロボット導入支援事業補助金)	理事長、山口、野宮、北海道厚生局3名、むかわ町3名
H29.11.21	第3回監事監査(ふきのとう、胆振東部鶴川慶寿苑)	伊東、丹治、理事長

H29. 12. 4	第三者委員会議（むさし）	理事長、山谷、加藤、伊東、山口、野宮、小原、山谷
H29. 12. 4	平成29年度第4回理事会	むさし
H29. 12. 22	ふきのとう実地指導（道2名・町2名）	理事長、丹治、山口、山谷
H29. 12. 28	町内関係機関挨拶回り（むかわ町、教育委員会、議会事務局、厚生病院、町社協、愛誠会）	理事長、山口
H29. 12. 29	むかわ町議会年末挨拶来苑（三倉議長、八木事務局長）	理事長、山口
H30. 1. 1	新年会（慶寿苑、こごみ荘、ふきのとう）	理事長
H30. 1. 6	新年交礼会（四季の館）	理事長、山口、野宮
H30. 1. 9	北央信用組合常務理事堀江氏新年挨拶来苑	理事長、山口
H30. 2. 20	第4回監事監査（胆振東部鶴川慶寿苑）	伊東、丹治、理事長
H30. 2. 27	平成29年度第5回理事会	慶寿苑サンルーム
H30. 3. 20	平成29年度第6回理事会	慶寿苑サンルーム

（２）採用職員及び退職者

1. 採用

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	
1	29	4	1		臨時介護士	日高町富川	北海道平取高等学校	40H
2	29	4	6		介護福祉士	日高町富川	特養）平取かつら園	正
3	29	5	1		臨時介護士	安平町	介護職員初任者研修修了	40H
4	29	7	1		臨時調理師	苫小牧市	株式会社日総	40H
5	29	9	1		臨時介護福祉士	平取町	元職員	40H
6	29	11	1		臨時介護士	むかわ町	グループホームやわらぎ	18H
7	29	12	11		臨時介護福祉士	厚真町	グループホームえがおの家	30H

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	居住地	出身校・職歴等	
1	29	8	10		臨時介護士	厚真町	家事手伝い、元職員	40H

2. 退職

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	29	4	30		介護福祉士	私事
2	29	7	20		臨時調理師	病気療養のため
3	29	7	31		臨時介護士	転居（東京へ）
4	29	8	31		介護福祉士	転居（岩手へ）
5	29	11	6		臨時介護士	私事
6	29	12	20		臨時介護士	転居（月形町）

7	29	12	20		アルバイト介護士	私事（就職準備）
8	30	3	31		介護福祉士	転居（札幌市）
9	30	3	31		臨時介護士	私事
10	30	3	31		臨時介護福祉士	契約満了
11	30	3	31		臨時介護士	骨折療養のため
12	30	3	31		臨時調理師	転居（札幌市へ）
13	30	3	31		介助員（環境）	定年
14	30	3	31		機能訓練指導員	定年（再雇用）

グループホームふきのとう

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	29	6	30		臨時介護士	私事
2	30	3	31		介護福祉士	私事
3	30	3	31		臨時介護士	私事
4	30	3	31		臨時介護士	定年
5	30	3	31		看護師兼介護士	定年（再雇用）

高齢者共同生活住宅ごみ荘

	年	月	日	氏名	職種（職名）	備考
1	30	3	31		臨時管理係	契約満了

（３）職員の保有資格等の状況

平成30年3月31日現在

資格及び修了講習等	慶寿苑	ふきのとう	ごみ荘	計
社会福祉士	1			1
介護福祉士	28	5		33
介護支援専門員	5	2		7
看護師	1	1		2
准看護師	4			4
管理栄養士	2			2
調理師	5			5
ヘルパー1級	1			1
ヘルパー2級、介護職員初任者研修	3	1		4
介護職員実務者研修	4	1		2
認知症対応型サービス事業開設者研修	1			1
認知症介護実践者研修	6	5		11
認知症対応型サービス事業管理者研修	3	2		5
認知症介護リーダー研修	2	1		3
認定調査員研修	5	2		7

認定特定行為従事者（経過措置 14 時間研修）	1 2	2		1 4
認定特定行為従事者（50 時間研修）	4			4
認知症ケア専門士		1		1
甲種防火管理者	7	1		8
雇用管理責任者講習	1			1
第一種衛生管理者	2			2
第二種衛生管理者	2			2
介護福祉士実習指導者講習会		1		1
地域密着型外部評価調査員	1			1
介護サービス情報公表に係る調査員	1			1
普通救命講習	5 6	9	5	7 0
ふまねっと3級インストラクター講習		7		7
キャラバン・メイト	4	3		7

（４）理事会開催状況

期日	会場	理事会	主 な 議 題
29. 05. 24	胆振東部鶴 川慶寿苑 サンルーム	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・平成 2 9 年度年賀寄付金配分申請の結果について ・日本財団助成車輛（ダイハツムーブ）の廃車手続き等について ・経理規程の一部改正（案）について ・理事長専決処理に関する規程の一部改正（案）について ・平成 2 8 年度事業報告書並びに収支決算報告について ・社会福祉充実残額の算定について ・監事監査報告（決算報告）について ・平成 2 9 年度第 1 回補正予算書（案）について ・平成 2 9 年度定時評議員会の日時及び会場について ・平成 2 9 年度定時評議員会の議案について ・次期役員（理事・監事）候補者の選任について ・平成 2 8 年度職場定着支援助成金（介護福祉機器等助成）に係る特殊浴槽（アリッサム）の更新について
29. 06. 08	むかわ町 産業会館 青年研修室	第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> ・役員（理事・監事）の選任について ・理事長の選定について ・理事長より役員（理事・監事）へ委嘱書の交付
29. 09. 25	胆振東部鶴 川慶寿苑 サンルーム	第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・人事関係報告について ・車輛整備等について

			<ul style="list-style-type: none"> ・職場定着支援助成金（介護福祉機器等助成）による特殊浴槽更新事業の執行状況について ・AEDの更新について ・修繕関係について ・予算執行状況について ・理事長の業務執行状況報告について ・監事監査報告について ・看取り介護について ・平成29年度第2回補正予算書（案）について ・クレジットカード利用に関する規程（案）並びにクレジットカード運用準則（案）について
29. 12. 04	むさし	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会議報告について ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・工事関係完了報告について ・理事長専決処理報告について（重油地下タンク埋設配管改修工事契約） ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成による車輛整備について ・平成29年度第3回補正予算書（案）について ・育児・介護休業に関する施行規則の一部改正（案）について
30. 02. 26	胆振東部鵒 川慶寿苑 サンルーム	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに事業所の運営状況報告について ・予算執行状況について ・監事監査報告について ・12月11日発生の突風による被害状況報告について ・理事長の業務執行状況報告について ・グループホームふきのとう実地指導の結果について ・人事関係報告について ・介護報酬の改定について ・介護サービス事業者の指定更新について ・クレジットカード使用に関する規程における業者選定について ・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成による車輛整備について（完了報告） ・重油地下タンク埋設配管改修工事について（完了報告） ・平成29年度第4回補正予算書（案）について ・社会福祉法人鵒川慶寿会慶弔見舞金規程（案）について ・就業規則、給与規程の一部改正（案）について ・重要事項説明書（利用料金体系）の一部改正（案）について

			<ul style="list-style-type: none"> ・入所契約書の一部改正（案）について ・運営規程の一部改正（案）について ・社会福祉法人愛誠会と連名によるむかわ町への陳情について ・3月理事会の日程について
30.03.20	胆振東部鵜川慶寿苑 サンルーム	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・職場定着支援助成金（個別企業助成コース：介護福祉機器等助成）による特殊浴槽更新事業完了報告について ・グループホームふきのとう指定更新について ・人事関係報告について ・平成29年度第5回補正予算書（案）について ・平成30年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・平成30年度新任職員歓迎会、役職員及びボランティア合同交流会について ・平成30年度第1回理事会、定時評議員会の予定について

（5）評議員会開催状況

期日	会場	評議員会	主 な 議 題
29.06.08	むかわ町 産業会館 青年研修室	定時	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告について ・平成28年度決算報告について（計算書類、財産目録の承認） ・社会福祉充実残額の算定について ・監事監査報告（決算監査）について ・資産総額の変更登記について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正（案）について ・役員（理事・監事）の選任について

（6）監事監査の実施状況

期日	会場	監査	監 査 実 施 項 目
29.05.18	鵜川慶寿苑 事務室	第1回	定款、諸規程、役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、人事管理、利用者預り金、その他
29.08.29	鵜川慶寿苑 事務室	第2回	役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金、その他
29.11.21	鵜川慶寿苑 事務室	第3回	会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金
30.02.20	鵜川慶寿苑 事務室	第4回	会計経理、理事会・評議員会、施設管理、利用者預り金

(7) 第三者委員会の開催状況

期日	会場	主 な 議 題
29.12.04	むさし	相談・苦情の受け付け状況及び利用者の事故等について

(8) 入居検討委員会の開催状況

期日	会場	委員会	主 な 議 題
29.06.16	鶴川慶寿苑 サンルーム	第1回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について
29.09.21	鶴川慶寿苑 サンルーム	第2回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について
29.12.08	鶴川慶寿苑 サンルーム	第3回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について
30.03.13	鶴川慶寿苑 サンルーム	第4回	・前回判定後の優先入居状況について ・今回の申込状況、評価項目と優先順位の検討について ・グループホームふきのとうの入居申込状況について

(9) 役員研修の実施状況

期日	研 修 内 容	参 加 者
30.02.15	社会福祉法人経営実務セミナー（札幌）	山口

(10) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法が平成26年6月30日改正され、従業員50人以上の事業所は、ストレスチェック制度が施行され、年1回以上の実施が必須となり、その結果は労働基準監督署へ提出しなければなりません。

株式会社EAP北海道と契約し、ストレスチェック、面接指導、カウンセリング（相談窓口）について職員のメンタルケアの一環として、行っています。

対象者は、週30時間以上の特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑の職員。

1. 実施状況

対象人数 58名（男性11名、女性47名）
実施人数 52名（男性10名、女性42名）
実施率 89.7%（男性90.9%、女性89.4%）

2. 相談窓口の利用状況

平成29年度の利用実績はありません。

3 胆振東部鷗川慶寿苑事業報告

平成29年度は、利用実績の低下により非常に厳しい運営状況となりましたが、整備事業計画に基づきベッドマット等の介護機器更新及び脱衣室へのエアコン設置を行いました。また、補助事業により特殊浴槽設備及び福祉車輛の更新を行うことができました。

一方で、予定外の修繕工事が発生したことも運営に影響を与えました。特に、重油地下タンク配管からの重油漏洩においては、土壌並びに周辺環境に影響を与えることなく対処できたことは不幸中の幸いといえます。また雨漏り、給水設備、サンルームの外壁・屋根等の老朽修繕も行いました。財源としては、単年度収支において対処する事は出来ず、積立金の取り崩しをもって対応しました。

老朽修繕については、今後も予想されますので優先順位を考えながら計画的に器具・備品・設備の更新と修繕を行っていきます。

利用状況については、重度者の退所と入院が増加し、平均介護度も3.84と前年より0.18ポイント軽くなりました。要介護度4、5の割合も67.5%と前年より8.3%下がっています。また、認知症高齢者の自立度についても重度と言われるⅢa以上の方が68.8%と前年より4.8%下がっています。

具体的な利用実績については、特養入所で延べ26,579日と前年より166日の増となり、1日あたり72.82人、稼働率91.02%となり前年度の実績をわずかに上回る結果となりました。入院日数1,532日に加え、年間退所者数が過去最高の31人（死亡17人、長期入院14人）に上り、退所から入所までの期間のロス日数の増加及び特養入所基準の変更に伴い、待機者の減少による空床期間の長期化が影響し稼働率が昨年並みとなりました。

一方で、短期入所においては1,184日の利用実績となり、前年度実績を大きく上回りました。特養と合わせた利用実績合計としては、前年度より781日の増加となり、特養の稼働率低下を補う形となりましたが、黒字化には至らぬ結果となりました。

年度末に向かい介護職員の退職により、新規入所者の受け入れが困難な状況もあったことも要因となっており、今しばらくこの状況が続きそうです。

課題としては、短期入所をきっかけとした利用促進を図りながら、待機者確保に努めるとともに、要介護度1又は要介護度2の特例入所要件に該当する方の入所についても柔軟に対応するとともに、介護職員の確保に向けた求人活動の強化が重要となっています。

利用者本位のサービス提供については、利用者の方々の重度化に伴い、医療的ケアの必要性が増加してきています。介護福祉士を対象とした喀痰吸引等50時間研修受講について計画的な研修受講と介護福祉士資格取得支援を含めた人材育成と確保は、重要な課題として引き続き取り組んでいきます。

また、特養の体制強化として、看取り介護機能が求められている昨今。本人、ご家族の希望により施設で最期を迎えたいという希望に沿うことができたことは、他職種協働による職員一人ひとりの努力の成果となりました。

まだまだ課題はありますが、終末期に入った利用者が、本人、家族の意向により、施設で安らかに最期を迎えられるよう、嘱託医、協力医療機関、施設の多職種による連携は勿論のこと、看取り介護研修の積極的参加、終末期を過ごす人が望むもの・望まないもの、そして自然死の理解を深められよう、施設内研修等を重ね、看取り介護加算Ⅰの算定ができる体制を整えることができました。

(1) 事業内容報告

1. 各種会議の実施

管理職会議の開催	1回	サービス担当者会議の開催	200回
運営会議の開催	12回	調理員会議の開催	12回
全体会議の開催	11回	給食運営会議	12回
フロアー会議の開催	22回	個別訓練計画会議の開催	200回
グループ会議開催	60回	地域ケア会議への出席(役場)	18回
ケア会議の開催	12回	リーダー会議	7回

2. 各委員会活動の実施

安全衛生委員会	12回	広報・渉外委員会	11回
研修委員会	10回	アクティビティサービス推進委員会	10回
事故・虐待・拘束防止委員会	16回	排泄・褥瘡検討委員会	10回
感染症対策委員会	12回	医療的ケア対策推進委員会	12回

3. 施設内研修の実施

(1) 施設内研修

新任職員入職時研修	7回	6人	言葉使い(マナー)研修	3回	124人
新任職員学習研修会	9回	18人	感染症対策	2回	92人
幹部職員研修	12回	108人	介護知識、技術等研修	10回	347人
リスク・虐待予防	4回	135人	サービス自己評価	1回	41人
アクティビティー	2回	67人	介護保険、社会福祉法人制度	4回	145人

(2) 外部講師による施設内研修

口腔ケア講義 5回 45人(11月6日、7日、9日、10日、13日) 18時30分から40分程度
町内の松風歯科 飯山矩康院長のご配慮により、横山由美子歯科衛生士を講師として招致。

4. 介護体制の確立と実践

年度当初は、介護職員体制、稼働率共に順調なスタートを切りましたが、傷病による長期休暇取得者の増加による職員不足に加え、年度途中で職員の退職により、シフトの変更、職員体制の見直し、他職種からの応援など、介護サービス提供体制に苦慮しました。年度末退職者の補充ができていない状況のなか、サービスの質の低下は否めませんが、一方で看取りケアへの取り組みをスタートさせる体制を整えたことは大きな成果となりました。今後の看取りケアの研鑽と、日常生活の介護サービスの底上げを図るよう人財確保も含め努力していきます。

5. 健康管理とリハビリ

重度の要介護者の体力低下により入院者が多い一年となりました。要介護度の重たい方は基礎体力が弱く、多様な疾患により入院することが多くあります。早期受診を心がけ、体調管理に努めていきます。

看取りケアについては、医師や介護職員など他職種との連携、家族への説明など、体制は確立されてきたと思います。

機能訓練においては、日々の訓練からADLの低下予防に努めました。また、レクリエーション活動を通して心身のリフレッシュも図れたと思います。

6. 給食の取り組み

毎月のお好み昼食、各行事のオードブルや季節に応じたメニューなど、利用者の楽しみとなるよう献立の作成、食事の提供を行ってきました。また、看取り期の方、体調不良の方には本人の嗜好や食べやすいものを提供するよう、他職種と連携しながら検討し、嗜好調査でも概ね利用者から高評価をいただくことができました。今後も衛生管理に注意し、少しでも個別に対応できる食事の工夫を凝らしていきたいと思います。

7. 広報活動

- (1) こんにちは 1 2回
- (2) はまなす通信 2回
- (3) 家族通信 1 2回
- (4) そよ風通信 3か月に1回

(2) 管理職会議・運営会議開催報告

1. 管理職会議開催状況

期日	協議内容
29. 11. 27	目標管理制度について（管理職評定、賞与支給率の検討、職員意向・次年度へ向けて）

2. 運営会議開催状況

期日	協議内容
29. 04. 06	研修（受動喫煙防止、介護福祉士国家試験の検証、特養入所指針、平成28年度利用状況について）、5月行事予定について、・意見・提言・連絡、給食運営会議
29. 05. 02	研修（介護保険法等の一部を改正する法律案について）、6月行事予定について、事業報告、決算報告、給食運営会議
29. 06. 06	研修（年金受給資格期間短縮対応）、7月行事予定について、・盆踊り日程と内容について、意見・提言・連絡、給食運営会議
29. 07. 06	研修（民生委員制度100年）、8月行事予定について、盆踊り、商工会盆踊り、地蔵祭り、ふれあい広場について、意見・提言・連絡、給食運営会議
29. 08. 03	研修（第7期介護保険事業計画の基本方針）、9月行事予定について、意見・提言・連絡、給食運営会議
29. 09. 05	研修（介護給付費分科会で示された論点）、10月行事予定について、意見・提言・連絡、弾道ミサイル落下時の行動について、給食運営会議
29. 10. 05	研修（「平穏死のすすめ」から）、11月の行事予定について、意見・提言・連絡、2階利用者の看取り介護を考える、給食運営会議
29. 11. 02	研修（平成30年度介護報酬改定）、12月行事予定について、クリスマス会について、意見・提言・連絡、給食運営会議
29. 12. 05	研修（求められる介護福祉士像）、1月行事予定について、意見・提言・連絡、感染症対策厳戒態勢について、給食運営会議
30. 01. 05	研修（平成30年度介護報酬改定）、2月行事予定について、サービス自己評価について、意見・提言・連絡、整備予算について、給食運営会議
30. 02. 06	研修（平成30年度介護報酬改定）、3月行事予定について、新年度事業計画、予算について、新任職員研修について、看取り介護について、意見・提言・連絡、・給食運

	営会議
30.03.02	研修（人事関係、加算取得準備、7期介護保険事業計画）、4月行事予定について、新年度事業計画、予算策定について（最終確認）、意見・提言・連絡、給食運営会議

（３）外部研修会の参加状況報告

番号	期間	研修内容	人数
1	5月13日	摂食嚥下リハビリテーション（札幌市）	3
2	5月13日	札幌栄養管理情報ネットワーク研究会（札幌市）	1
3	5月22日	看取りケア研修（札幌市）	6
4	5月24日	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会（苫小牧市）	1
5	5月31日 6月1日	新任介護職員研修（札幌市）	1
6	6月13日	北海道アスベストセミナー（札幌市）	1
7	6月14日 6月15日	日胆地区老施協研究大会（登別市）	1
8	6月14日	実地研修指導者講習（札幌市）	1
9	7月28日	当事者研究全国集会（浦河町）	1
10	8月2日	総務担当者研修（札幌市）	1
11	8月5日	実務者研修通学講習（むかわ町）	5
12	8月9日	栄養業務担当者研修（苫小牧市）	1
13	8月19日	実務者研修通学講習（むかわ町）	5
14	8月22日	看護師専門研修（札幌市）	1
15	8月26日	実務者研修通学講習（むかわ町）	5
16	9月2日	認知症看護研修（苫小牧市）	2
17	9月2日	実務者研修通学講習（むかわ町）	5
18	9月5日	給食施設運営者研修会（苫小牧市）	1
19	9月14日	介護職員専門研修（札幌市）	1
20	10月3日	家族会交流会（むかわ町：事務局担当）	8
21	10月5日	直接処遇職員研修会（苫小牧市）	3
22	10月6日	社会福祉法人会計担当者研修（札幌市）	1
23	10月9日	実務者研修通学講習（むかわ町）	2
24	10月14日	実務者研修通学講習（むかわ町）	3
25	10月15日	実務者研修通学講習（むかわ町）	3
26	10月16日	実務者研修通学講習（むかわ町）	2
27	10月19日	口腔ケア基礎研修（苫小牧市）	4
28	11月8日	地域ケア実務者研修（むかわ町）	3
29	11月22日	栄養士専門研修（札幌市）	1
30	12月2日	看護職の交流会（札幌市）	2
31	12月7日	虐待防止推進研修会（札幌市）	2
32	12月14日 12月15日	日胆地区施設長研修会（登別市）	1

33	1月29日	施設長研究セミナー（札幌市）	4
34	2月11日	看取り期の食事を支えるアプローチ（札幌市）	2
35	2月15日	社会福祉法人経営実務セミナー（札幌市）	1
36	2月19日	試食・説明会（札幌市）	2
37	2月23日	気づきの力を高める研修（札幌市）	2
38	2月26日	タウンミーティング（苫小牧市）	2
39	3月27日	介護報酬改定に伴う事業者説明会（室蘭市）	2
			93

（４）防災体制と危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	防災器具点検	備考
4月		月1回	自主点検	消防署立入検査
5月		月1回	自主点検	
6月	避難訓練（夜間）	月1回	自主点検	
7月		月1回	自主点検	
8月		月1回	自主点検	
9月		月1回	業者点検・自主点検	ボイラー保守点検
10月	避難訓練	月1回	自主点検	
11月		月1回	自主点検	
12月		月1回	自主点検	
1月		月1回	自主点検	
2月		月1回	自主点検	ボイラー保守点検
3月	災害時の避難訓練（2階への避難誘導）	月1回	業者点検・自主点検	
備考	電気設備系点検		業者点検・2か月に1回（偶数月）	
	エレベーター点検		業者点検・3か月に1回（24H遠隔監視）	
	非常食の確保（保存水、おかゆ、味噌汁、魚缶詰等9食3日分）			
	★ 緊急対応マニュアルの活用。 ※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、理事長へ連絡体制をとる。 ※ 夜間の急変時等のときは、看護師、医師、施設長、家族へ連絡体制をとる。 ※ 状況により災害協力協定に基づく支援要請を行う。（日胆地区老施協、胆振東部3町社会福祉法人）			

（５）苦情処理状況と事故発生状況

平成29年度は、苦情相談はありませんでしたが、接遇マナー特に、挨拶、言葉使いや態度など、継続的に注意しながら対応していきます。

事故発生状況につきましては、毎年骨折、打撲、誤薬の事故が発生しており、胆振総合振興局社会福祉課及び保険者へ事故報告書を提出しております。具体的には骨折事故が3件発生しており、転倒・転落・皮膚剥離がそれぞれ20数件と多いのが特徴です。事故報告書並びにヒヤリ・ハットによる事

故予防の検証を行うとともに、介護ミスを起こさないよう研修、検討を重ねていきます。

(6) 主な施設整備状況

整備日	整備・修繕内容	金額
H29.4	フルリクライニング車椅子5台	459,000
H29.4	エバーフィットマットレス10枚	421,200
H29.4	介助バー10台	345,600
H29.6	浴室脱衣室エアコン導入	469,800
H29.7	駐車場避難用通路新設	334,800
H29.7	特殊浴槽アリスサム ※職場定着支援助成金事業	8,910,000
H29.7	特浴室床塩ビシート張替工事	210,600
H29.10	サンルーム外壁、屋根改修	1,540,080
H29.11	屋上防水補修工事	1,782,000
H29.11	車輛更新(日産セレナ) ※中央競馬馬主社会福祉財団助成事業	3,430,000
H29.12	重油タンク埋設配管改修工事	3,488,400
合 計		21,391,480

(7) 利用者の構成とその状況

1. 在籍者

男性25名 女性48名 計73名 平成30年3月31日現在

胆振総合振興局管内							
むかわ町 63名		厚真町 2名		安平町 1名		苫小牧市 2名	
男	女	男	女	男	女	男	女
22	41	0	2	1	0	0	2

日高振興局管内							
平取町 1名		新ひだか町 1名		日高町 2名		浦河町 1名	
男	女	男	女	男	女	男	女
0	1	1	0	0	2	1	0

2. 年齢別状況

平成30年3月31日現在

区分	60～69	70～79	80～89	90～99	100以上	合計	平均年齢
男	1	6	14	4		25	83.2
女		10	14	22	2	48	88.4
合計	1	16	28	26	2	73	86.6

3. 在苑期間

平成30年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	合計	平均期間
男	8	4	8	2	3		25	1年9か月
女	5	2	17	9	10	5	48	4年6か月
合計	13	6	25	11	13	5	73	3年6か月

4. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成30年3月31日現在

要介護度	なし	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要介護1			1				1
要介護2		1	2	1			4
要介護3	1	1	3	12	2	1	20
要介護4			10	11	8		29
要介護5			5	8	5	1	19
合計	1	2	21	32	15	2	73

5. 月別利用者状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

区分 月別	入所	退所			入院 外泊	入所者数	延利用日数
		死亡退所	長期入院	家庭へ			
平成29年4月	2		1		25	81	2,353
5月	2	1	1		48	82	2,415
6月		1			67	80	2,327
7月	1				107	80	2,373
8月			2		186	80	2,293
9月	1	1	1		182	79	2,155
10月	4	2	2		128	81	2,274
11月	1	3	1		172	78	2,110
12月	5	4	1		137	79	2,155
平成30年1月	3	2	2		228	77	2,074
2月	3	1	1		141	76	1,914
3月	3	2	2		111	77	2,136
合計	25	17	14		1,532	950	26,579

一日実利用者数72.82人(91.02%)

6. 利用者の要介護度

平成30年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	1		1
要介護2		4	4
要介護3	7	13	20
要介護4	12	17	29
要介護5	5	14	19
合計	25	48	73

(8) 在宅サービスの状況

1. 短期入所生活介護

平成29年4月1日～平成30年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	人数	2	4	5	4	4	4	5	5	5	5	6	7	56
	延べ日数	20	30	33	50	32	30	38	34	41	40	55	65	468
要介護2	人数	3	4	5	3	3	3	1		1	1	1	1	26
	延べ日数	18	30	34	30	34	40	16		15	15	26	6	264
要介護3	人数	1	2		1	1	1				1	1	1	9
	延べ日数	4	11		2	4	6				3	6	18	54
要介護4	人数	1	1	1	1	2	2	2	2	3	1		1	17
	延べ日数	15	16	17	15	32	33	29	40	24	15		20	256
要介護5	人数	1	2	2	1	1	1			1			1	10
	延べ日数	10	21	34	22	18	19			6			12	142
合計	人数	8	13	13	10	11	11	8	7	10	8	8	11	118
	延べ日数	67	108	118	119	120	128	83	74	86	73	87	121	1,184

一日実利用者数3.24人(32.43%)

2. 介護予防短期入所生活介護

平成29年4月1日～平成30年3月31日

利用実績なし。

3. むかわ町高齢者等生活支援短期入所生活介護

平成29年4月1日～平成30年3月31日

利用実績なし。

(9) ボランティアの受入状況

		団体名	活動内容	回数	人数	合計
町内	団体	駒場町内会	防災訓練	1	11	11
		纏保存会	出初め式纏振り	1	4	4
		支え合い共に生きる会・個人	ふれあい喫茶	9	5～8	55
		鶴川民謡同好会	盆踊り協力	1	1	1
		ボランティアさつき会	盆踊り協力	1	3	3

		鷓川慶寿苑家族会	花壇整備、盆踊り模擬店協力	2	25	25
		カネダイ大野商店	盆踊り模擬店及び歌謡ショー	1	10	10
		むかわ町商工会女性部	ソーメン寄贈	1	3	3
		鷓川ライオンズクラブ	寄附金	1	1	1
		天理教鷓川分会	窓清掃	1	12	12
		鷓川高校ボランティア同好会	レクリエーション、清掃	1	3	3
		認定こども園	歌、踊り	1	26	26
	個人	吉田紀晃氏	華道指導	12	1～2	14
		田中ハルエ氏、佐々木チエ子氏	書道教室	18	1～2	30
		伊東八百子氏	傾聴ボランティア	9	1	9
町外	団体	ビハーラ鷓川	彼岸法要、法話会、お参り	8	8	8
		苫小牧歯科健康診断協会	口腔ケア	12	1	12

(10) 施設見学・実習生等の受入と福祉教育

将来、福祉の仕事に携わる人財を育てるために、また、施設、福祉への理解を醸成するためにも実習生の受け入れ及び介護等体験の受け入れを積極的に取り組んで来ました。

*施設研修

研修名	学校	期間	受入数	合計日数	内容
初任者研修実習受入	三幸	30.1.17～30.1.18	2名	2日	施設実習

*専門学校

学校名	学年	期間	受入数	合計日数	内容
光塩学園女子短期大学	2年	29.8.21～29.9.1	1名	10日	施設実習(栄養士)

*高校

学校名	学年	期間	受入数	合計日数	内容
鷓川高校	2年	29.10.18～29.10.19	1名	2日	インターンシップ
	1年	29.11.6	7名	1日	むかわ学
	2年	30.3.27～30.3.28	2名	2日	インターンシップ

*中学校

学校名	学年	期間	受入数	合計日数	内容
鷓川中学校	3年	29.10.24	37名	1日	清掃、交流

*小学校

学校名	学年	期間	受入数	合計日数	内容
宮戸小学校	全学年	29.9.29	18名	1日	器楽演奏等、交流
鷓川中央小学校	6年	29.11.21	21名	1日	ボランティア学習

4 高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告

(1) むかわ町高齢者グループホームふきのとう事業報告

平成29年度の利用実績は、利用者さんの入退院（8月～12月）がありベッド稼働率95.19%で、目標としていたベッド稼働率98%を達成することはできませんでした。

平成29年度は2名の入退居があり、退去者のうち1名は、長期入院となりましたがその後、特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑に入所が決まりました。もう1名は、ご家族の方が遠方（東京）におり、傍で最後は看取りたいとの思いから、ご家族宅へ転居され、その後グループホームへ入居されました。新規入居者のうち1名は、体調面や認知症の進行により、こごみ壮での生活が困難となり入居されました。もう1名の方は、一人暮らしで認知症の進行により自宅での生活の継続が困難となり入居されました。

経営面においては、介護報酬の減算や入院による稼働率の低下もあり、介護保険事業収入は大幅な収入減となりましたが、むかわ町からの空床等に対する一定程度の補填及び特養からの繰入金収入もあり、当期資金収支差額において、わずかではありますが黒字を計上することができました。今後、開設時に特養から繰り入れられた資金については、計画的に返還できるよう安定した収支状況を保てるよう努めて参ります。

健康管理面においては、日々の生活の中で、利用者さんの健康状態を把握し、異変に気付き速やかに病院受診につなげることができた一方で、利用者さんの疾患についての知識を知り、予防策として水分摂取が如何に大切であることを再認識することができました。

個々の状態に応じた医療ニーズに対応できるよう、2月より特養から看護師が異動となり、協力医療機関等との連携強化を図り、利用者に対する日常的な健康管理に加え、急変時における24時間の連絡体制を整え、安心・安全の確保に努めております。

介護報酬改定において報酬単価は変更がない中で、新たに加算を取得できるものは取得して収入増を目指していきます。平成30年度も一定程度の支出を抑えながら平成31年度に備えて参ります。

昨年3月むかわ町から指定管理者の指定を受けて5年が経過し、引き続き指定管理者として10年間の指定を受けました。

整備関係では、むかわ町の事業として、玄関スロープの改修及び舗装工事並びに居間へ念願であったエアコンが設置されました。これまで以上に建物・設備・備品等に、不具合が生じた箇所等があった場合は、むかわ町の担当課と協議をしながら改善を図って参ります。

認知症ケアについては、利用者個々の状況に応じたケアを目指し、認知症介護基礎研修に職員を派遣し、介護力向上を図って参りました。まだまだ課題も多く、他施設（認知症対応型共同生活介護事業所）と協力し、管理者が相互に講師役を務める等工夫しながら職員全員で認知症に対する勉強会を開催し、職員個々の介護力向上を目指します。

これからも、より一層地域住民との協力体制の構築や同業者との交流を図っていきながら、我が家と思われるホームを目指して一層努力していきます。

1. 在籍利用者

平成30年3月31日現在

区分	～69	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	0	0	0	0		0
女	0	1	4	4	9	86.6
合計	0	1	4	4	9	86.6

2. 入居期間調

平成30年3月31日現在

区分	1年未満	1年～3年	3年～5年	5年～	合計	平均期間
男	0	0	0	0	0	0月
女	2	4	2	1	9	2年3月
合計	2	4	2	1	9	2年3月

3. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成30年3月31日現在

要介護度	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要介護1	0	3	0	0	0	3
要介護2	0	0	4	1	0	5
要介護3	0	0	0	1	0	1
要介護4	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	0	3	4	2	0	9

4. 月別利用者状況調

平成29年4月1日～平成30年3月31日

月別	区分	入居	退居			入院 外泊	利用者数	延利用日数
			他施設 慶寿苑	入院	家庭			
平成29年4月		0				0	9	270
5月		0				0	9	279
6月		0				3	9	267
7月		0				3	9	276
8月		0		1		29	9	250
9月		1				25	9	245
10月		0				23	9	256
11月		1			1	34	9	236
12月		0				39	9	240
平成30年1月		0				2	9	277
2月		0				0	9	252
3月		0				0	9	279
合計		2	0	1	1	158	108	3,127

一日実利用者数8,57人(95.19%)

5. 利用者の要介護度調

平成 30 年 3 月 31 日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護 1	0	3	3
要介護 2	0	5	5
要介護 3	0	1	1
要介護 4	0	0	0
要介護 5	0	0	0
合計	0	9	9

6. 職員の資質向上

①職員会議の状況

ケア・スタッフ会議	13 回	月 1 回定例開催
-----------	------	-----------

②内部研修の状況（スタッフ会議）

4 月	事業計画、収支予算、就業規則、個人情報保護規程、職員倫理規程、法令遵守、人事考課に伴う目標管理シートについて 普通救命講習について	8 名	10 月	仕事について 自己評価について 夜間を想定した消防訓練 医療機関の入院時の準備について	6 名
5 月	今年度の要望、行事関係について、日中の消防訓練について	5 名	11 月	職員共済会永年勤続者表彰 感染症防止について	5 名
6 月	平成 28 年度事業報告、決算報告、認知症の接し方 認知症と人の権利について	6 名	下旬 2 回	ノロウィルス等の対応 夜間想定した消防訓練実施 介護福祉に必要な資質について 認知症で大切なこと	7 名
7 月	食中毒防止・衛生管理 厚生病院の受診方法の変更について	5 名	12 月	目標管理制度による人事考課集計結果等について	7 名
8 月	なし	0 名	1 月	年頭にあたって、仕事について H30 年度介護報酬改定について	6 名
9 月	社会福祉法人制度改革の概要 目標管理制度による職務調査表・人事考課について 権利擁護・虐待防止について 介護記録について	6 名	2 月	H30 年度介護報酬改定・加算 体重の推移、緊急対応・防火マニュアル見直し、重度化した場合における対応及び看取りに関する指針、医療面について	5 名
			3 月 下旬 2 回	就業規則の一部改正 給食費について 職員の休憩時間について	6 名

③外部研修の参加状況

番号	期間	研 修 内 容	参加人数
1	7月6日	認知症キャラバン・メイト養成研修（札幌）	2名
2	7月15日	りっこ式高齢者レクサイズ研修会（札幌）	1名
3	8月9日	認知症介護基礎研修（札幌）	1名
		計	4名

④自主研修（再掲）

- ・認知症キャラバン・メイト養成研修 2名
- ・認知症介護基礎研修 1名

7. 健康・衛生管理

- ①利用者一人ひとりの健康状態について把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めてまいりました。秋頃には、入退院する方もおり、長期的に入院治療することもありましたが、皆さん元気に暮らしています。
- ②利用者、職員、来訪者に対し、手洗いやうがいの励行を行ってきました。広報誌や家族懇談会の中で様々な感染症について、周知・徹底を図り、食中毒やノロウイルス・インフルエンザ等の感染防止に努めてまいりました。
- ③利用者の急変時には、速やかに主治医や協力医療機関、家族に連絡を行うとともに、救急搬送等による適切な対応を行うことができました。また、看護師の配置に伴い、重度化した場合における対応に係る指針を見直し、次年度から医療連携加算取得に向けて取り組んでまいりました。
- ④施設内外の整理整頓として、敷地内の草刈りを定期的に行い屋外環境美化に努めてまいりました。また、居室の清潔保持など住環境の整備や利用者の身だしなみへの心遣いに努めてまいりました。

8. 危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	備考
4月		月1回	
5月		月1回	消防署立入検査、自主点検
6月	消防訓練（日中）	月1回（自主訓練）	業者点検
7月		月1回	自主点検
8月		月1回（自主訓練）	
9月		月1回	自主点検
10月		月1回	
11月	消防訓練（夜間）	月1回（自主訓練）	夜間を想定した訓練を日中に実施 田浦両自治会 協力 訓練 消防署立入検査
12月		月1回	業者点検、
1月		月1回	消防団纏披露
2月		月1回	
3月		月1回（自主訓練）	自然災害を想定した訓練
備考	<p>★消防用設備防災点検（6月、12月）</p> <p>★緊急対応・防火マニュアルの見直し、一部改正</p> <p>※災害時は、連絡網による連絡、家族、管理者へ連絡体制をとる。</p> <p>※夜間の急変時等のときは、管理者、協力医療機関、家族へ連絡体制をとる。</p> <p>※2月より急変・緊急時、看護師と24時間の連絡体制を整え医療機関との連携を図ってまいりました。</p> <p>※胆振東部3町 社会福祉法人間で協力協定締結。</p>		

9. ご家族・地域との連携

①運営推進会議の開催状況

期日	協議内容
29. 6. 22	運営状況報告について、平成29年度事業計画・収支予算について、平成28年度事業報告並びに決算報告書について、意見・提言・連絡。
29. 8. 30	運営状況報告について 平成28年度事故・ヒヤリ・ハット報告について、協議事項（消防訓練の内容）
29. 10. 30	平成29年度 自己評価について、意見・提言・連絡
29. 11. 20	平成29年度 第2回消防訓練（夜間を想定した訓練）田浦両自治会協力
30. 1. 17	運営状況報告について 利用者さんの病気について 消防訓練の反省、外部評価の結果報告
30. 3. 19	重要事項説明書の改正点について、重度化した場合における対応および看取りに関する指針、意見箱の設置、意見・提言・連絡

②家族懇談会開催

※平成29年9月23日 ふきのとう敬老会、1年の行事報告

③ボランティア等来訪者の状況

	年月日	内 容	備 考
1	29. 9. 2	熊野神社 子供みこし (田浦自治会)	10名
2	29. 9. 20	民生児童委員施設見学	6名
3	29. 11. 6	鶴川高校むかわ学	2名
4	29. 11. 29	地域密着型外部評価調査員	2名
5	29. 12. 19	そばうちボランティア	1名
6	30. 1. 4	消防団纏	6名
7	30. 1. 20	紙芝居・カラオケボランティア	1名
8	30. 2. 15	紙芝居、カラオケボランティア	1名
9	30. 3. 15	紙芝居・カラオケボランティア	1名

④地域交流として

※むかわ町から、認知症キッズサポーター養成講座の講師の依頼を受け、認知症キャラバン・メイト養成研修を受講した職員が協力し、認知症についてわかりやすく、小学生に説明する機会をいただきました。

(認知症キッズサポーター養成講座 (鶴川中央小学校) 12月15日 職員1名)

※鶴川地区総合文化祭に出品するため、作品作りに取り組み、10月27日及び11月3日には、文化祭見学に行きました。また、管理者が実行委員として参加しました。

※外部からのボランティア活動として、1月より紙芝居、カラオケボランティアが定期的に開催されるようになり、利用者さんは毎月楽しみに待っております。

⑤外部評価を受けて、家族や第三者からの何時でも意見を聞く機会として、意見箱を設置しました。

10. 広報活動について

①ふきのとう通信 12回

11. 相談・苦情の状況

平成29年度は、相談、苦情はありませんでした。また、利用者さんの事故もありませんでしたが、職員が異臭に気付き確認すると、利用者さんのベッド柵に取り付けられるクリップライトが倒れ、敷きパット(寝具)等が焦げた事例がありました。目が不自由な利用者さんで、倒れたことに気付かなかったことが原因と思われます。現在は、クリップライトを取り外しています。

(2) 高齢者共同生活住宅ごみ荘事業報告

7名が退去となりましたが、介護が必要となり退去された方のうち、1名がふきのとうへ入居し、2名が慶寿苑に入所しました。介護が必要となったときの住み替えがスムーズに行えたと思います。しかし、6名の方が入居しましたが、空室期間（ロス期間）が大きく、稼働率が例年よりも大きく下がりました。また、入居待機者に順次お声掛けするものの、入居できない方や見送りされる方など、入居につながらないケースも多いことが、空室期間が大きくなった要因と思われます。入居者募集のため、各事業所等へ相談していますが、介護を必要とされる方が多く、申し込みにつながっていない状況となっています。

赤字経営が続いている中、ごみ荘で、デイサービス、配食サービスの調理を行っており、食事提供に係る電気、水道料金をごみ荘が負担している状況となっています。むかわ町にご協力いただき調理室に電気メーターを取り付けていただきましたので、今後、水道メーターの取り付けも視野に入れ、光熱水費の負担について検討していく準備を行っていきます。

設備については、特殊建築物定期調査により、非常照明の交換が必要な個所の指摘があり、LEDの非常照明を取り付けました。また、館内の洗面所配水管が腐食して水漏れする箇所が続いたため、全館の腐食している配水管を交換しました。

1. 年齢別状況

平成30年3月31日現在

区分	むかわ町	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	5	2	2	1	5	83.0
女	14	0	10	4	14	86.0
合計	19	2	12	5	19	85.2

2. 入居期間

平成30年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5年以上	合計	平均期間
男	1		2	1	1	5	2年8か月
女	3	2	4	1	4	14	2年11か月
合計	4	2	6	2	5	19	2年10か月

3. 月別入居者状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

区分 月別	入居	退居			入院 外泊等	入居者数	延入居日数
		他施設	死去	入院			
平成29年4月	0				41	20	559
5月	0		1		33	20	587
6月	1				17	20	583
7月	0				16	20	594
8月	0			1	37	20	583
9月	1	1			41	20	559
10月	0				68	19	552
11月	0				45	19	555
12月	1	2			83	20	537
平成30年1月	1				91	19	529
2月	0		1		60	19	500
3月	2			1	64	20	556
合計	6	3	2	2	596	236	6,694

一日実利用者数18,34人(91.70%)

4. 入居者の要介護度

平成30年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
自立	4	3	7
要支援1		3	3
要支援2		1	1
要介護1	1	5	6
要介護2		2	2
要介護3			
要介護4			
要介護5			
合計	5	14	19

5. 移動販売等

- ①船山商店(毎週木曜日)
- ②苫小牧ヤクルト(毎週月曜日)

6. ボランティア等の受入状況

期日	団体名	内容	人数
H29. 8. 28	鷓川中央小学校ボランティア委員会	折り紙で交流	12名
H29. 9. 20	民生児童委員	施設見学	6名
H29. 10. 31	ねたきり予防教室	参加者 11名	1名
H29. 12. 11	鷓川中央小学校ボランティア委員会	折り紙で交流	12名

7. 交流広場

交流広場は地域の方々及び各種団体等に定期的且つ有効に活用されています。

(1) 定期的利用

田浦スポーツクラブ（毎週金曜日夜間）

むかわジュニアファイターズ

沼ノ端ミニバスケット

こごみ荘入居者ウォーキング

(2) その他

田浦自治会子供会（5月）